

形式：オンラインセミナー（Live 配信）

補足： Live 配信に加え【見逃し配信】も実施します。当日の受講が難しい場合は見逃し配信をご視聴ください（配信期間は 10 日間程度）

ジャンル：MOT（R&D 戦略、マネジメント、技術経営）

講習会コード： t d s 2 0 2 5 0 2 1 2 a 1

「技術や活かした設計情報が再利用されていない、組織的に財産化されていない」とお悩みの方も多と思います。本セミナーでは、「設計ナレッジの標準化」を切り口に、より筋の良い設計の伝承方法を 1 日の講義と演習を通して体得していただきます。

## 開発設計現場における 技術伝承と暗黙知見える化のポイント

～見える化の仕掛け方・プロセス・仕組みへの落とし込み方／社内資料（過去トラ、設計標準）の活用／演習あり～

講師：（株）日本能率協会コンサルティング R&D コンサルティング事業本部  
コンサルタント 中川 翔太 氏

2016 年の JMAC 日本能率協会コンサルティング入社以来、製造業の設計開発部門にプロジェクトマネジメント、労働生産性向上、コストダウン、新製品開発のコンサルティングを行っている。特に最近、SDGs マスタープラン策定、GHG プロトコルスコープ 3 排出量算定などを支援している。

●日程 2025 年 2 月 12 日（水） 10：00 ～17：00

●受講料 1 名 36,300 円（税込） ※2/4（金）までにお申込の場合、**29,040 円（2 割引）**となります

※演習を予定しておりますので、可能でしたら、マイクのご用意と発話可能な環境でのご受講をお願いします

※復習用として見逃し配信をご視聴いただけますが、**配信は座学部分のみで演習部分の配信はありません。**できるだけ当日のご参加をお願いします

### 1. 暗黙知の見える化についての認識

- ・開発設計の特性
- ・よく見られる悩み
- ・暗黙知の見える化の考え方

### 2. 暗黙知の見える化手法

- ・設計標準化の意義
- ・設計手順の標準化手法：I P D O 標準化の解説
- 演習①**：悩み事の共有

### 3. 技術伝承と暗黙知見える化の仕掛け方

- ・D R 運営上の問題点と高度化のポイント
- ・レビューに求められる能力
- ・コーチング／技術伝承
- ・チームミーティングを陳腐化させないためのポイント
- ・ワイガヤの重要性と現実を直視する

### 4. プロセス・仕組みへの落とし込み方

- ・開発プロセスでの蓄積ポイント
- ・既存の仕組み・帳票との連携
- ・蓄積度合いの管理方法

### 5. 社内資料の効果的な活用方法

- ・過去トラ情報で参照すべきポイント
- ・過去トラの活用法
- ・不具合の再発防止のために必要なもの
- 演習②**：今後に向けた課題共有

#### <習得知識>

1. 暗黙知の見える化のポイント
2. 技術伝承と暗黙知見える化の仕掛け方
3. 社内資料（過去トラ、設計標準など）の効果的な活用方法
4. プロセス・仕組みへの落とし込み方

#### <受講対象>

開発設計・技術部門もしくは支援部門の中堅クラス以上の方の最適です。特に、ベテランで技術伝承をどのように行うべきか悩まれている方や暗黙知となっている技術資産を見える化し、組織的に蓄積・活用することを考えているマネージャーの方などにお勧めします。

#### <講義概要>

開発設計・技術部門におきましては、日々の日常業務に追われて、開発業務を通して得られた知見や技術が個人に埋没していることがよく見受けられます。組織的にこのような埋没している暗黙知を見える化し、蓄積・活用できるような仕組みを構築しなければ、個人に頼った業務を続けていかなければいけません。そうでなければ、過去に起こしてしまった品質不具合の再発や、担当者が辞めてしまったがために培われてきた技術が途絶えてしまうということが起きてしまう恐れがあります。

本講座では、**個人に埋没している暗黙知をどのように見える化すればいいのか、蓄積・活用する仕組みをどのように構築すればいいのか**といったお悩みを持たれている方々へ向けて、**見える化のポイントや手法、そしてプロセス・仕組みへの落とし込み方**をご紹介します。また、講義の中では演習もご用意していますので、講義を受けておられる方々との交流を通じて、困りごとや、気づき・学びの共有を図り、理解を深めていければ幸いです。

# <お申込要項>

下記に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください（※は必須です）

  
**FAX**  
**03-6261-7924**

<b>申込講座</b>	2025/2/12	開発設計現場における 技術伝承と暗黙知見える化のポイント	
<b>会社名※</b>			
<b>所在地※</b> <small>（請求書等の送付先）</small>	〒		
<b>参加者①</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
<b>参加者②</b>	<b>氏名※</b>		<b>TEL※</b>
	<b>所属※</b>		<b>FAX</b>
			<b>役職</b>
	<b>Email※</b>		@
<b>会員登録</b>	<input type="checkbox"/> 登録する <input type="checkbox"/> 登録しない <small>（登録料・会費はかかりません。お得な割引や会員イベント情報等を配信します）</small>		
<b>支払方法※</b>	<input type="checkbox"/> 銀行振込（紙請求書） <input type="checkbox"/> 銀行振込（PDF請求書） <input type="checkbox"/> カード支払い <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>支払予定日※</b>	<input type="checkbox"/> [    ] 月 [    ] 日ごろを予定している <input type="checkbox"/> 未定のため後日連絡する		
<b>備考※</b>			

## お申込について

① 以下のいずれかの方法でお申込みください

A	FAX	上記に必要事項をご記入の上、送信ください
B	E-mail	送信先： <a href="mailto:entry@tech-d.jp">entry@tech-d.jp</a> メール本文に<①【申込講座】 ②【会社名】 ③【所在地】 ④【氏名】 ⑤【所属】 ⑥【Email】 ⑦【TEL】 ⑧【支払方法】、⑨【支払予定日】>をご記入の上、ご送信ください
C	Web	<a href="https://tech-d.jp/">https://tech-d.jp/</a> の各講座のページからお申込みください

② お申込受付後、受付完了のご連絡（メールまたはお電話）をいたします

③ 請求書等をお送りいたします

### <注意>

① お申込後 1 週間たっても受付完了の連絡がなかった場合は、お手数ですが、弊社までご連絡ください

② 開催日の 7 日前以内のキャンセルはお受け致しかねます。必要に応じ代理の方のご出席をお願いいたします

## お支払について

### <期日>

受講料は講習会開催日の翌月末日までにお支払いください

※期日までに間に合わない場合は、対応いたしますのでご一報ください

### <方法>

① 銀行振込（振込手数料は御社にてご負担願います）

② クレジットカード（支払方法はメールでご案内します）

### 【お振込先】

<b>振込先銀行</b>	三井住友銀行
<b>支店</b>	多摩センター支店（909）
<b>口座番号</b>	（普） 0 9 7 3 5 2 2
<b>名義</b>	株式会社テックデザイン

<b>主催 申込・問合せ先</b>	<b>名称</b>	株式会社テックデザイン（ <a href="http://www.tech-d.jp/">http://www.tech-d.jp/</a> ）		
	<b>住所</b>	〒102-0074 東京都千代田区九段南 3-9-14 九段南センタービル 5 階		
	<b>電話</b>	03-6261-7920	<b>FAX</b>	03-6261-7924
	<b>E-mail</b>	entry@tech-d.jp（申込） / info@tech-d.jp（問合せ）		